



令和3年度

市民アンケート実施結果(速報集計)

調査の概要

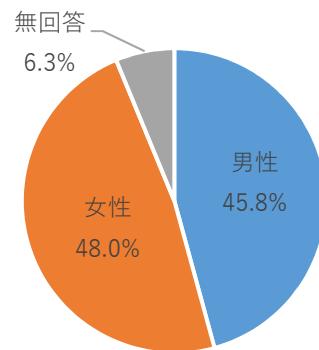
| | | |
|------|---|--|
| 調査設計 | ◆調査対象 満18歳から74歳までの鹿角市民 ◆対象者数 700人 ◆抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出 | ◆実施方法 自治会長等を通じた配付と職員回収 ◆調査期間 令和3年5月27日(木)～6月17日(木) ◆有効回答 496人(回収率70.9%) |
| 調査項目 | 1. 子育て支援について 4. 中心市街地について 7. コモッセの利用状況について 10. 鹿角市への愛着について | 2. 公共交通について 5. 運動の実施状況について 7. 地域コミュニティについて 11. まちの満足度について 12. 市の政策について |

※ 基数となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数です。また、本文中の百分率は少数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合があります。

調査回答者の属性

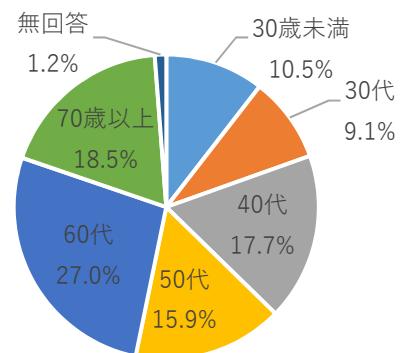
1 性別

| 区分 | 回答者数 | 構成比 |
|-----|------|-------|
| 男性 | 227人 | 45.8% |
| 女性 | 238人 | 48.0% |
| 無回答 | 31人 | 6.3% |
| 計 | 496人 | 100% |



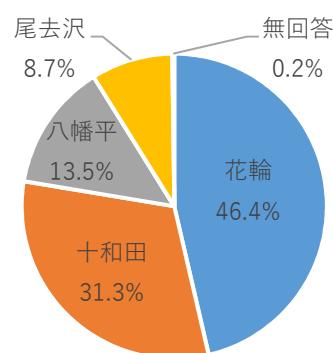
2 年代別

| 区分 | 回答者数 | 構成比 |
|-------|------|-------|
| 30歳未満 | 52人 | 10.5% |
| 30代 | 45人 | 9.1% |
| 40代 | 88人 | 17.7% |
| 50代 | 79人 | 15.9% |
| 60代 | 134人 | 27.0% |
| 70歳以上 | 92人 | 18.5% |
| 無回答 | 6人 | 1.2% |
| 計 | 496人 | 100% |



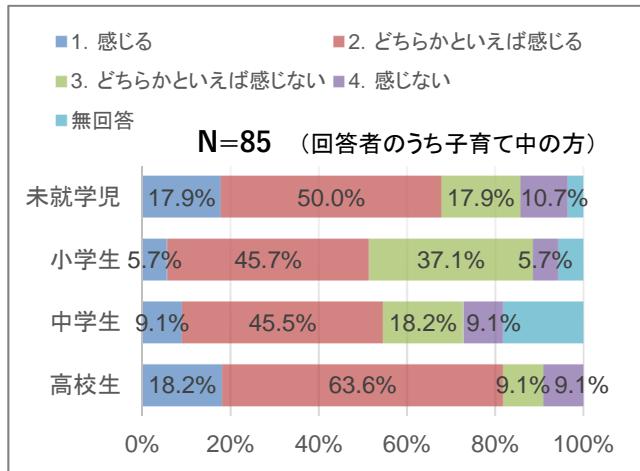
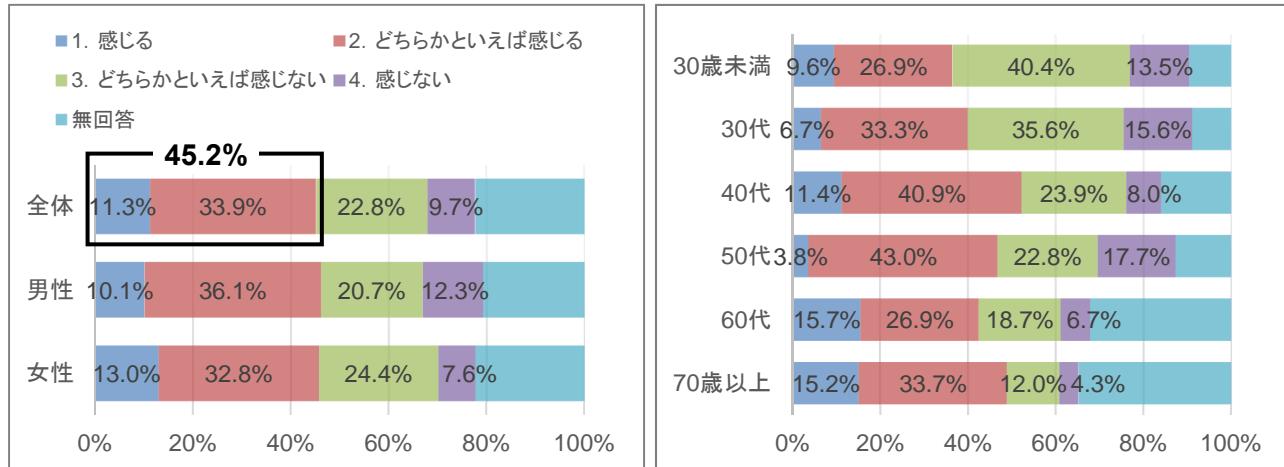
3 地区別

| 区分 | 回答者数 | 構成比 |
|-----|------|-------|
| 花輪 | 230人 | 46.4% |
| 十和田 | 155人 | 31.3% |
| 八幡平 | 67人 | 13.5% |
| 尾去沢 | 43人 | 8.7% |
| 無回答 | 1人 | 0.2% |
| 計 | 496人 | 100% |



1 子育て支援について

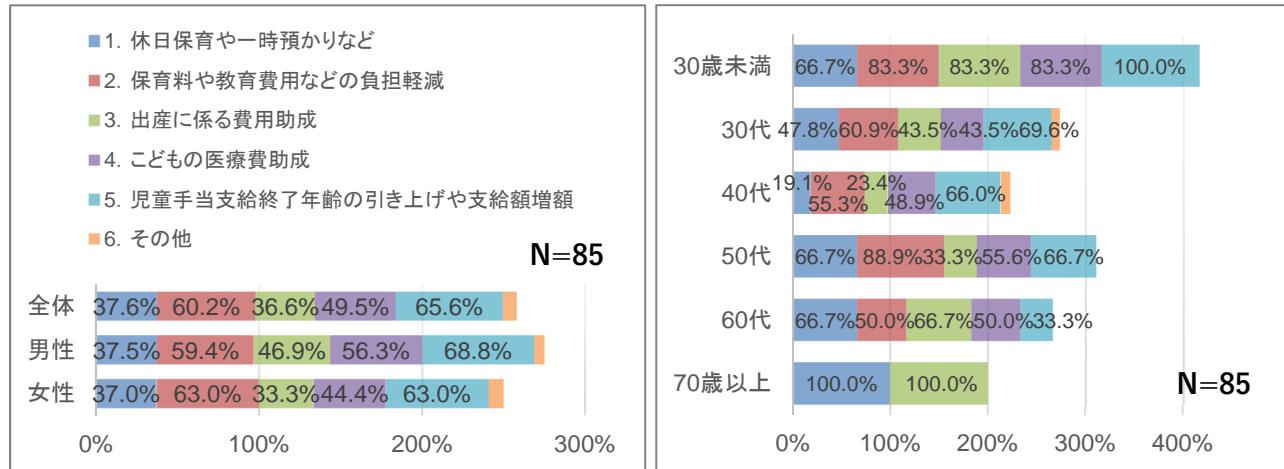
設問2① あなたは、鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。



【分析概要】

- ▶ プラス評価 (45.2%) がマイナス評価 (32.5%) より 12.7 ポイント高い。
- ▶ 男女別では、前年は女性のプラス評価が男性を 5.5 ポイント上回っていたが、今回は男性のプラス評価が 0.4 ポイント上回った。
- ▶ 年代別では、30 代以上の年代は 40% 以上のプラス評価を得ている。
- ▶ 子どもの就学別では、すべて 50% 以上であり、子育て現役世代から一定の評価が得られている。

設問2② 現在、ご自分が子育てをされている方におたずねします。どのような子育て支援の充実が必要だと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

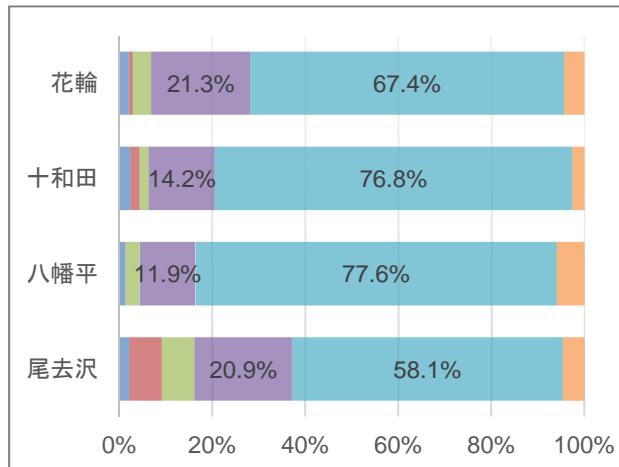
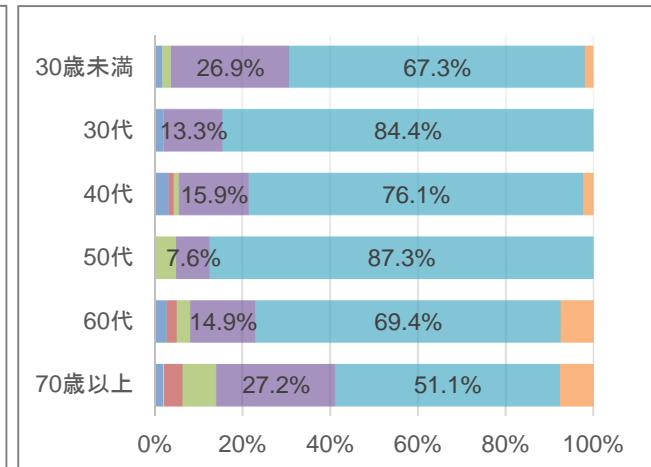
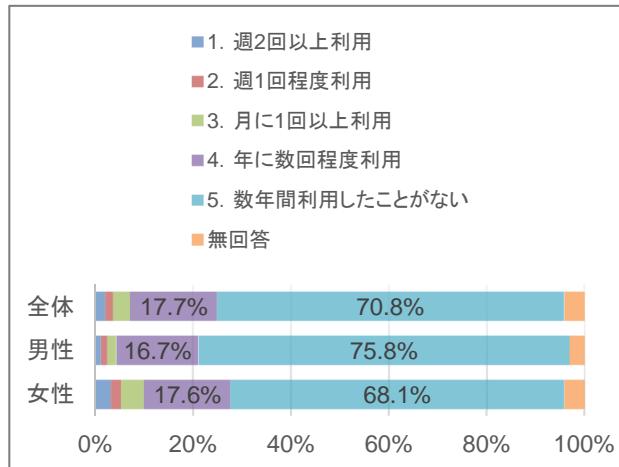


【分析概要】

- ▶ 「児童手当支給年齢の引き上げや支給額増額」が全体の 65.6% と最も多い。次いで、「保育料や教育費用の負担軽減」が 60.2%、「子どもの医療費助成」が 49.5% と続いているが、これは保育料無償化や高校生までのマル福拡充による医療費軽減など、市が行ってきた経済的支援の継続を求める声といえる。

2 公共交通について

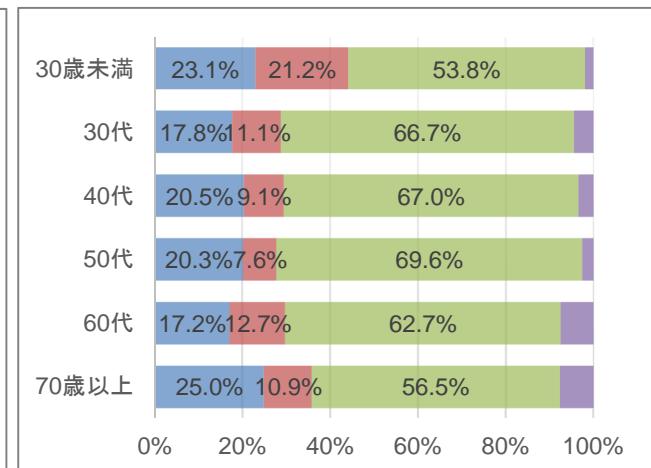
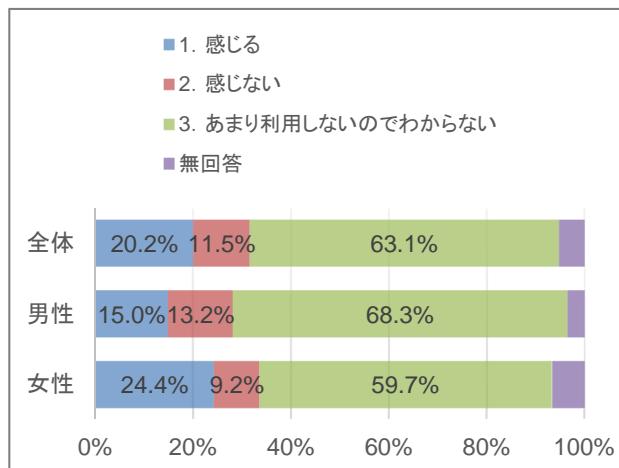
設問3① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下「公共交通機関」といいます。）の利用頻度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。



【分析概要】

- ▶公共交通機関を「数年間利用したことない」と回答した割合は 70.8% と昨年より 3 ポイント増加しており、自家用車が日常の移動手段といえる。
- ▶年代別では、30 代、40 代、50 代の「数年間利用したことない割合」が約 8 割だが、70 歳以上は、昨年より 5.2 ポイント減少しており、わずかだが、公共交通機関を利用する割合が高まった。
- ▶地区別では、十和田地区と八幡平地区が「数年間利用したことない」割合が高い。

設問3② あなたは、普段の生活で公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

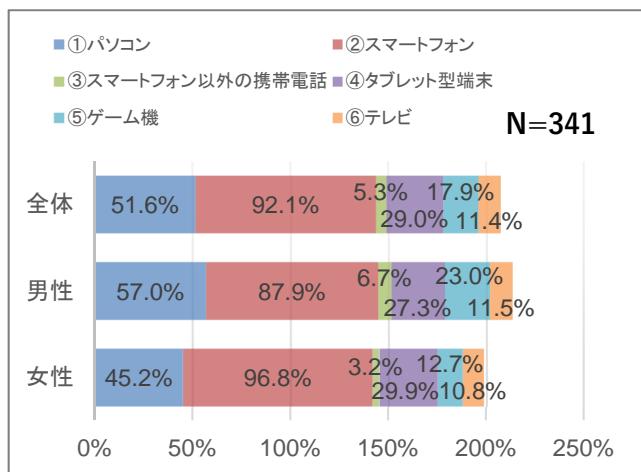
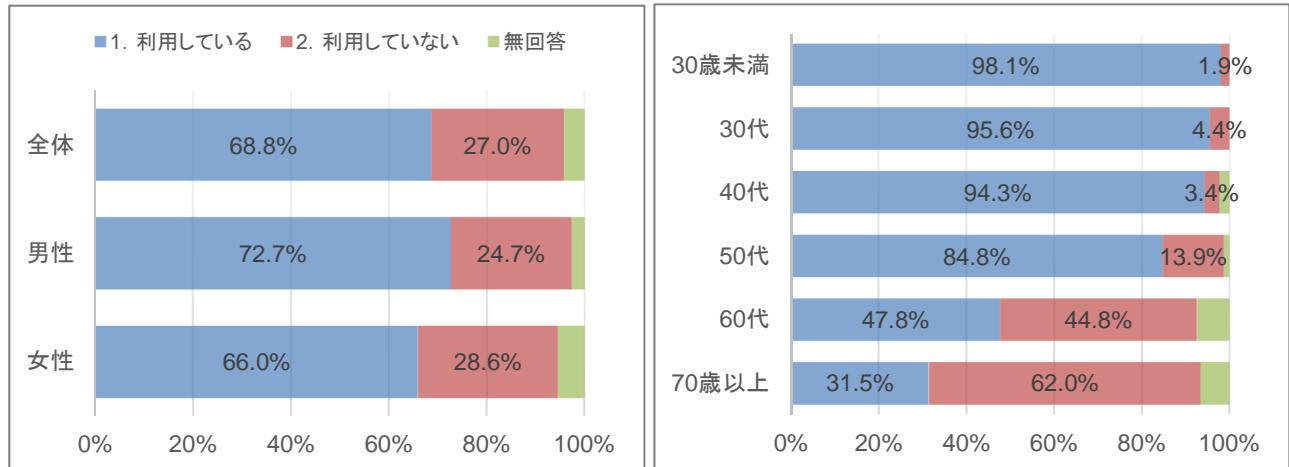


【分析概要】

- ▶「不便を感じる」と回答した割合は 20.2% で、昨年より 2.1 ポイント増加した。「本数が少ない」、「自宅からバス停や駅まで遠い」「乗り換えの不便さ」が主な理由となっている。現在自家用車を利用している年代からは、「将来利用することになった場合に、不便さや不安を感じる」という声があった。

3 地域情報化について

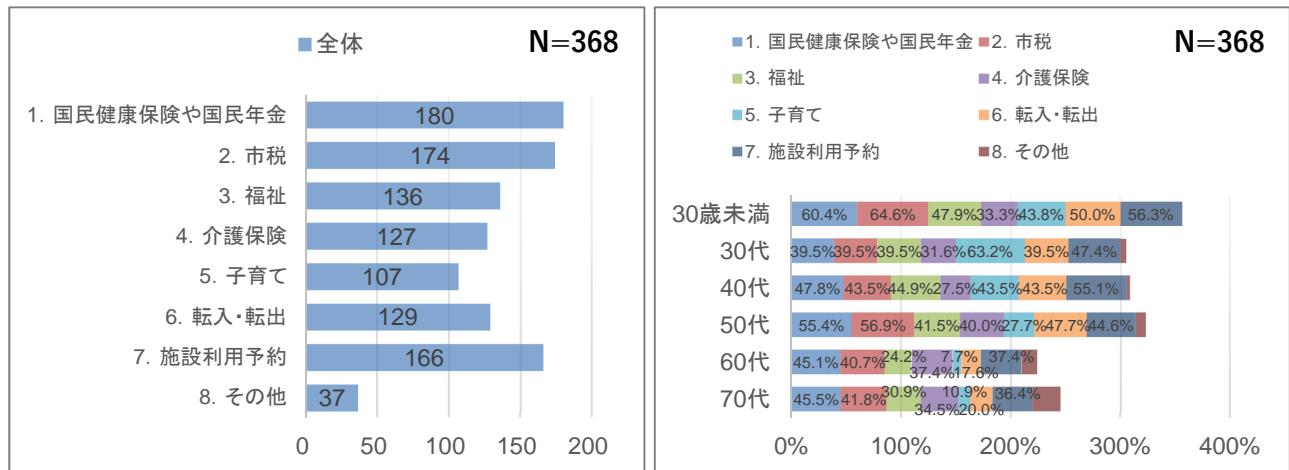
設問4 ① あなたはインターネットを利用していますか。また、利用している場合は、利用機器について、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【分析概要】

- ▶ インターネットを利用している割合は 68.8% であり、昨年を 5.5 ポイント下回ったものの、一定の水準を維持している。
- ▶ 年代別では、30 歳未満が 98.1% と最も高く、ほぼ全員がインターネットを利用している状況にある。年齢が上がるにつれて減少していくのは例年と同様の傾向である。
- ▶ 利用機器については、スマートフォンの割合が最も高く、着実な普及がみられる。

設問4 ② あなたは、今後市役所のどのような手続きが電子申請ができるようになればいいと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

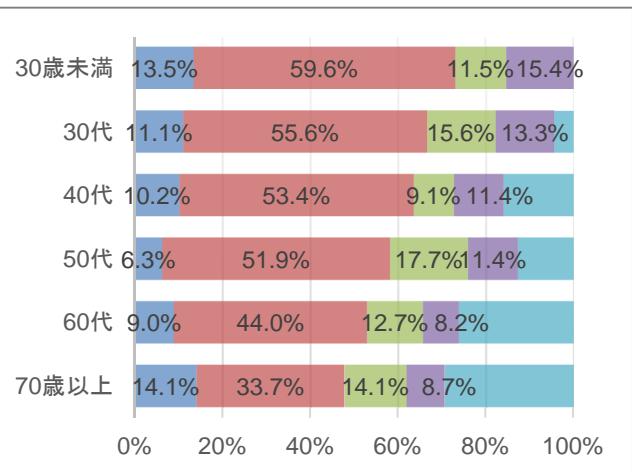
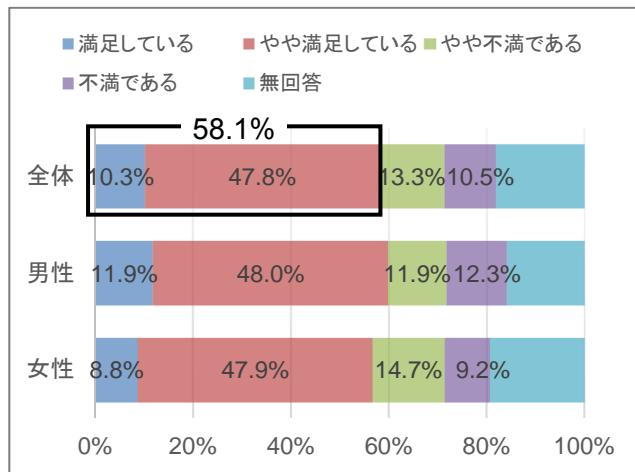


【分析概要】

- 「国民健康保険や国民年金」が最も多く、次いで「市税」、「施設利用予約」となっている。
- 年代別では、40 代までが「子育て」が多く、50 代以降は「介護保険」がやや高くなっている。

4 中心市街地について

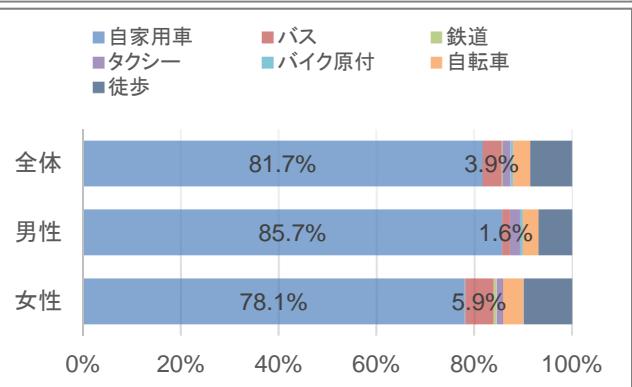
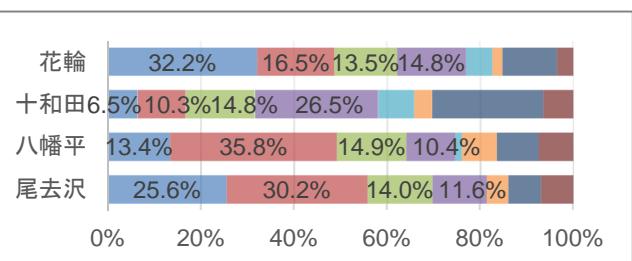
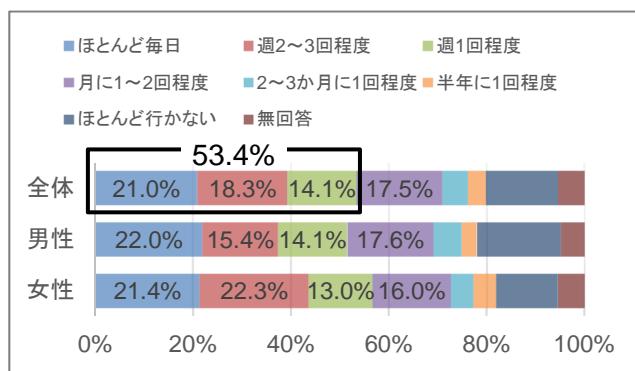
設問5① あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。



【分析概要】

- ▶ 「満足」「やや満足」と回答した割合は 58.1% で前年を 8.4 ポイント上回った。
- ▶ 年代別では、30 歳未満の満足度が 73.1% と最も高く、年代が上がるにつれて満足度が低下。
- ▶ 地区別では、花輪地区に住む方の満足度が 68.7% と昨年より 14.4 ポイント向上した。
- ▶ 不満と感じる理由では、魅力のある店舗が少ないことが最多。次いで公共交通機関が不便であること、駐車場が少ないことが挙げられている。

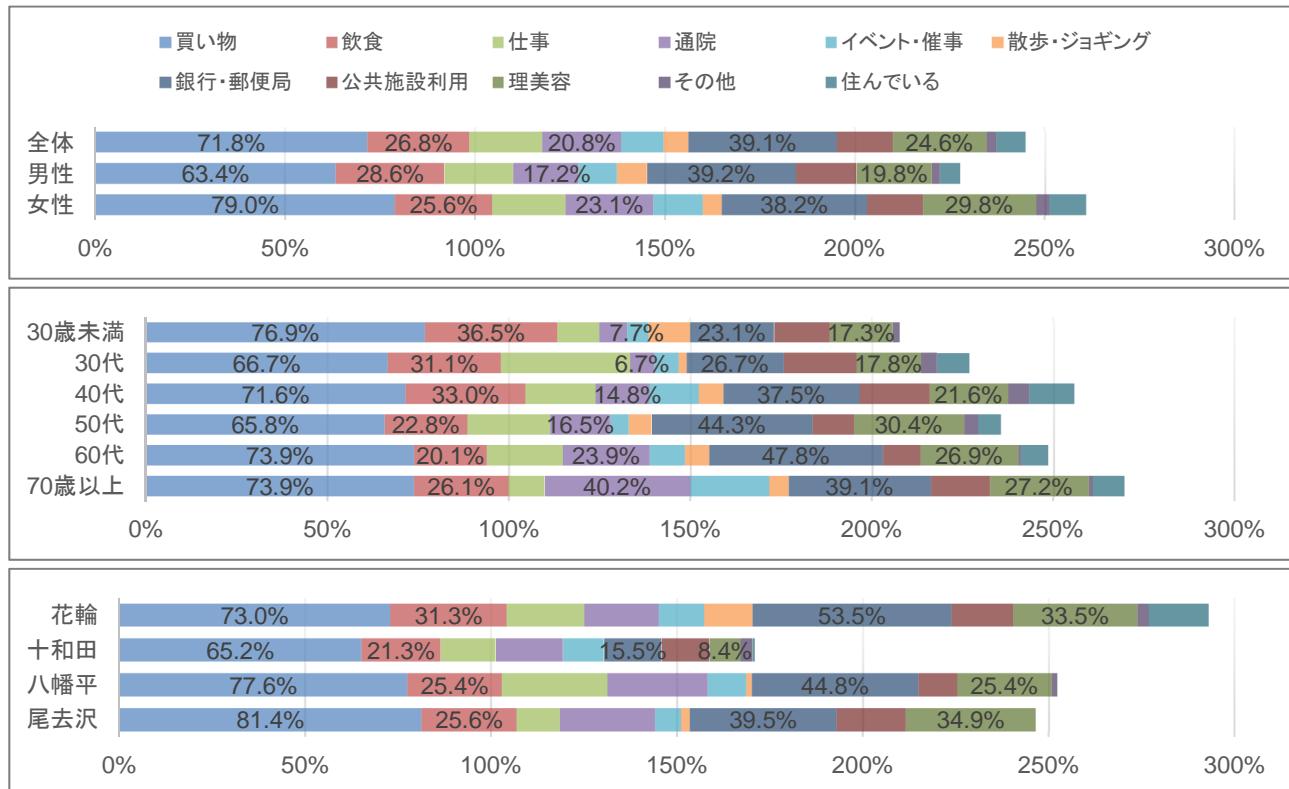
設問5② あなたが中心市街地で活動する頻度はどれくらいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。また、主な交通手段も1つに○をつけてください。



【分析概要】

- ▶ 「ほとんど毎日」と回答した割合は 21.0% であり、週 1 回以上活動する割合は 53.4% となった。
- ▶ 地区別（週 1 回以上活動）では、尾去沢地区が 69.8% で最も高く、十和田地区が最も低い。
- ▶ 主な交通手段は、8 割以上が自家用車である。

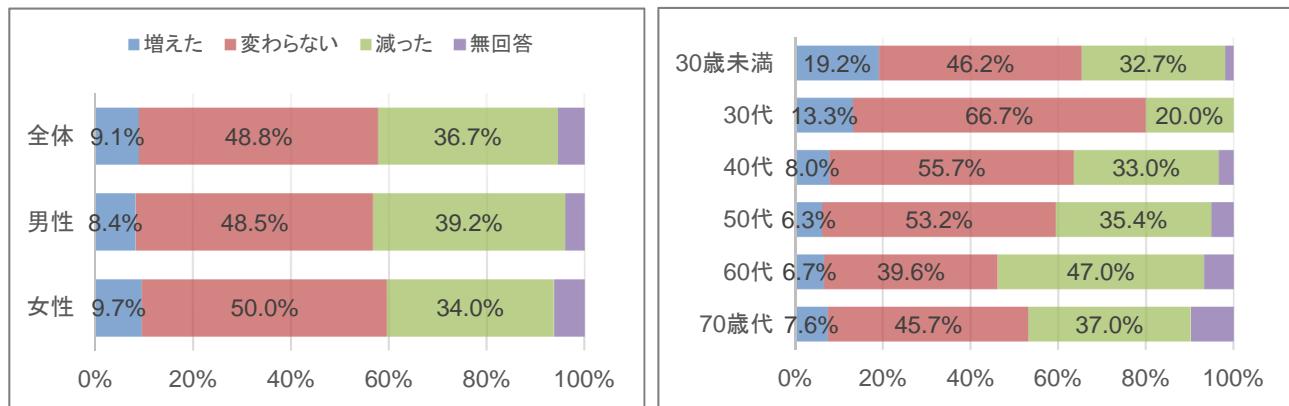
設問5③ あなたが中心市街地で活動する目的について、当てはまるものすべてに○をつけてください。また、滞在時間にも○をつけてください。



【分析概要】

- ▶ 「買い物」が 71.8% と最も多く、次いで「銀行・郵便局」が 39.1%、「飲食」が 26.8% となった。
- ▶ 「買い物」以外では、若い年代で「飲食」、中高年齢層で「銀行・郵便局」「理美容」「通院」が多い。
- ▶ 十和田地区を除く地区では「銀行・郵便局」が 2 番目に多く、次いで「理美容」となっている。
- ▶ 1 回当たりの平均滞在時間は、1~2 時間が 32.7% と最も多く、滞在時間は短時間である。

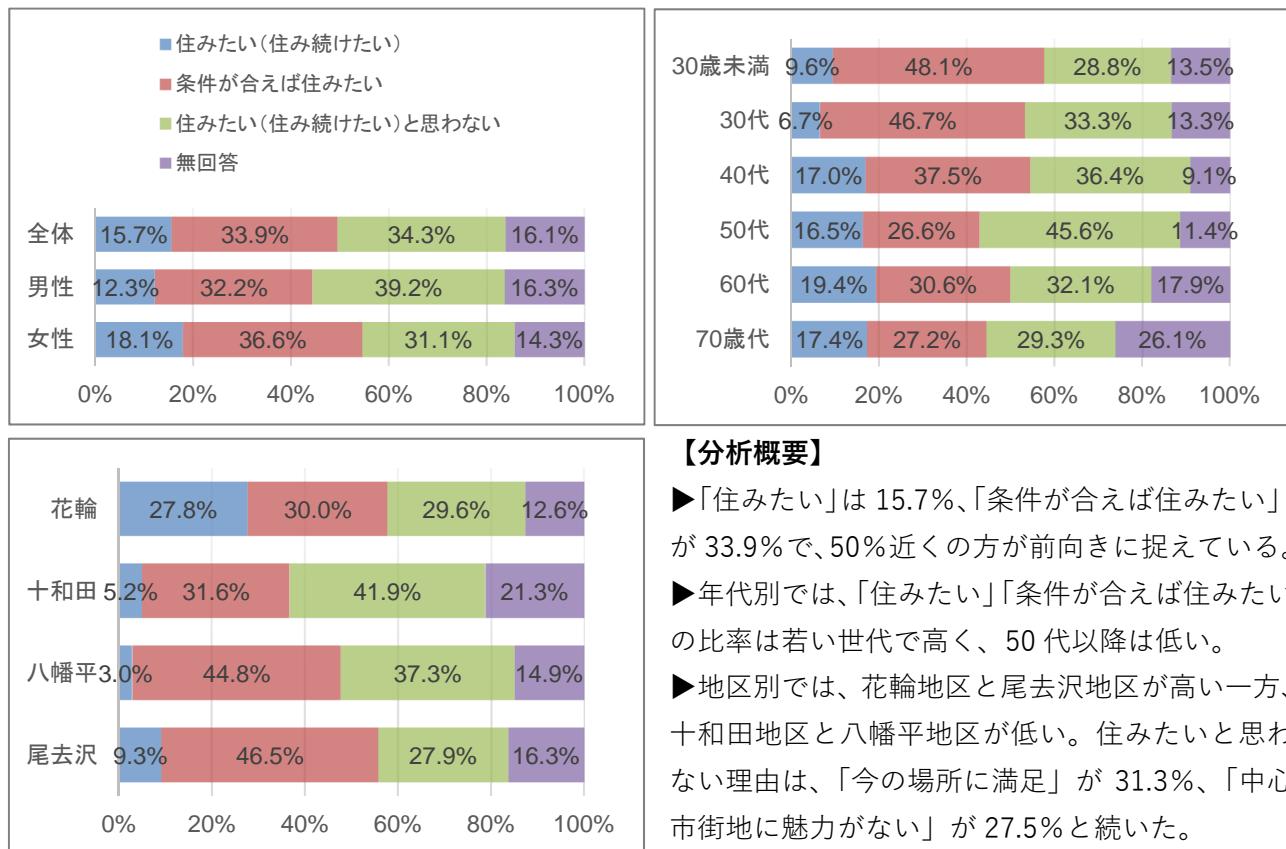
設問5④ 中心市街地で活動する頻度は 5 年前と比べてどうなりましたか。(設問5⑤減った理由含む)



【分析概要】

- ▶ 「変わらない」が 48.8%、「減った」が 36.7%、「増えた」が 9.1% となった。
- ▶ 年代別では、「減った」と答えた割合は 50 代から 70 代で高くなっている。「増えた」と答えた割合は、30 歳未満から 30 代で比較的高くなっている。
- ▶ 減った理由は、「店が少ない」が 48.4%、「店に欲しいものがない」が 43.4%、「駐車場がない、少ない」が 40.1%。5 年前と比較して空き店舗の増加や郊外の大型店との比較が影響していると推測。

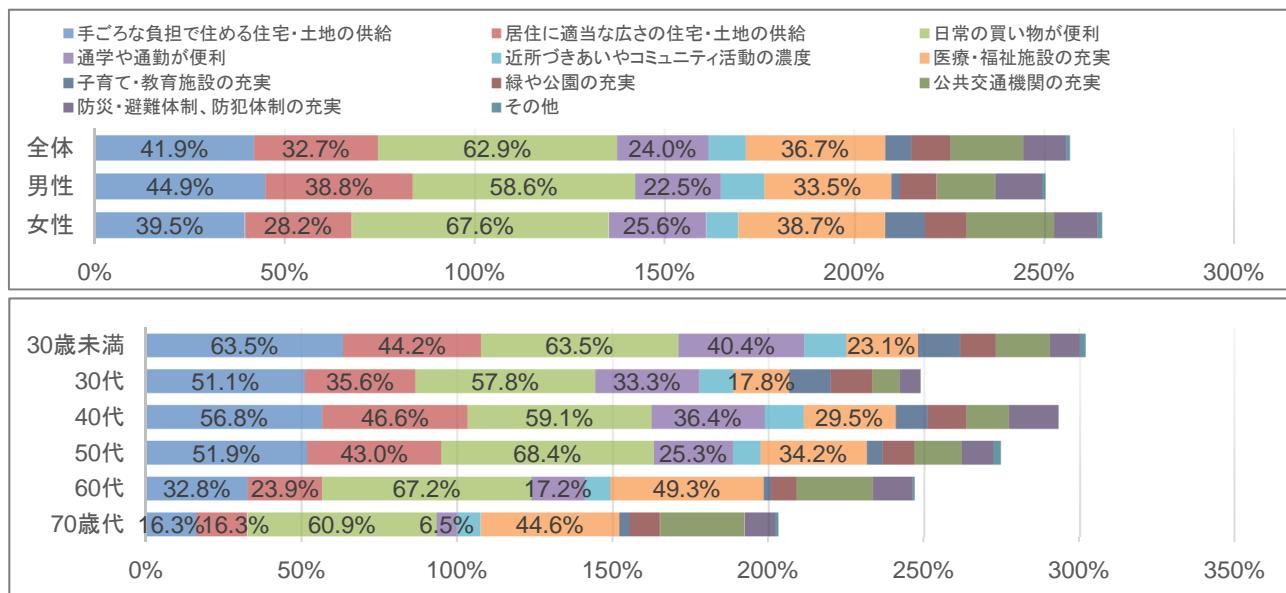
設問5⑥ あなたは中心市街地に住みたいと思いますか。（現在住んでいる方も）当てはまるもの1つに○をつけてください。



【分析概要】

- ▶「住みたい」は 15.7%、「条件が合えば住みたい」が 33.9%で、50%近くの方が前向きに捉えている。
- ▶年代別では、「住みたい」「条件が合えば住みたい」の比率は若い世代で高く、50 代以降は低い。
- ▶地区別では、花輪地区と尾去沢地区が高い一方、十和田地区と八幡平地区が低い。住みたいと思わない理由は、「今の場所に満足」が 31.3%、「中心市街地に魅力がない」が 27.5%と続いた。

設問5⑦ あなたが中心市街地に居住するとした場合に、重視するのはどのようなことですか。当てはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

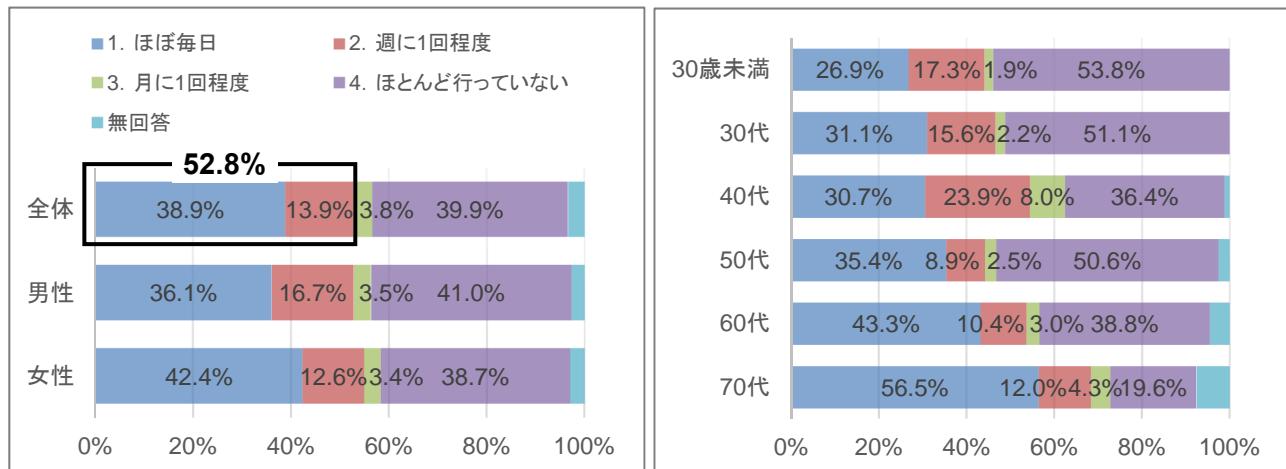


【分析概要】

- ▶「日常の買い物が便利」が 62.9%、次いで「手ごろな負担で住める住宅・土地の供給」が 41.9%、「医療・福祉施設の充実」が 36.7%、「居住に適當な広さの住宅・土地の供給」が 32.7%となった。
- ▶30 歳未満から 50 代までは価格や居住面積、通勤や通学を選択する比率が高く、60 代以上では医療・福祉を選択する比率が高い。

5 運動の実施状況について

設問6 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。



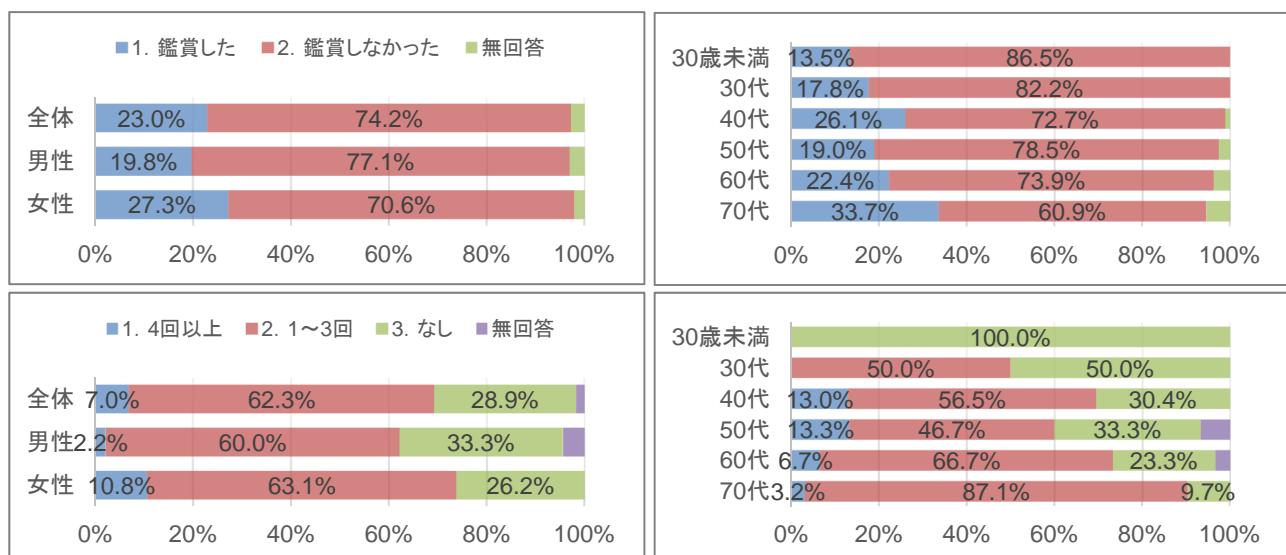
【分析概要】

▼週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、52.8%と前年を0.6ポイント上回った。

▼年代別では、30代と40代が昨年を上回ったが、30歳未満は昨年より18.7ポイント下回った。新型コロナウィルス感染症の影響により、イベント等の中止によって運動形態が変わった影響がある。

6 芸術鑑賞について

設問7 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。そのうち、コモッセで鑑賞したものは何回ですか。



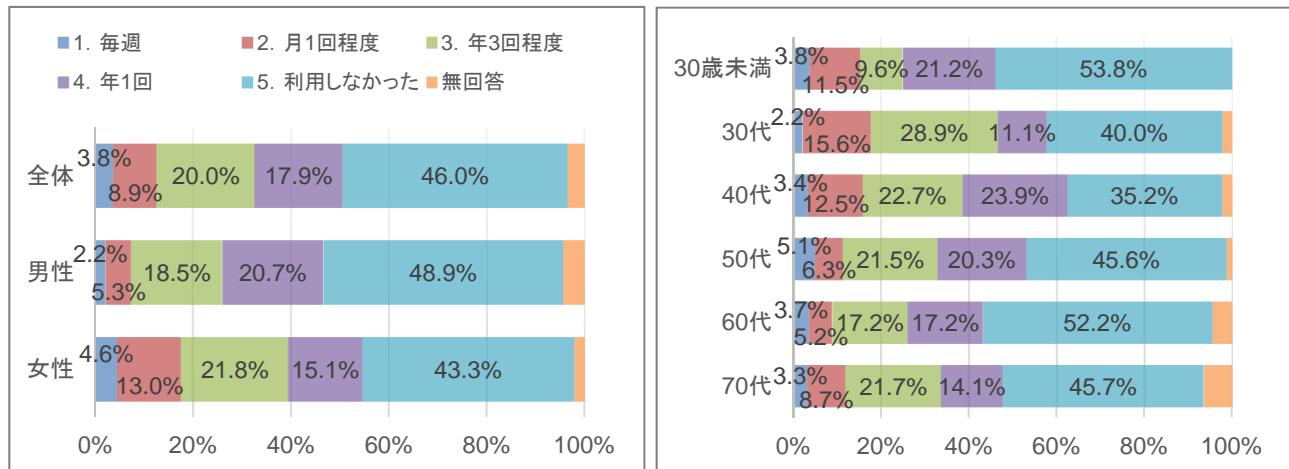
【分析概要】

▼新型コロナウィルスの影響で、芸術鑑賞した人の割合は23.0%と昨年を16ポイント下回った。

▼そのうち、コモッセで鑑賞した割合は69.3%となった。年代別では、30歳未満を除いた各年代で50%以上となったが、50代以下では昨年より減少し、60代以上では増加した。

7 コモッセの利用状況について

設問8 あなたは、昨年1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

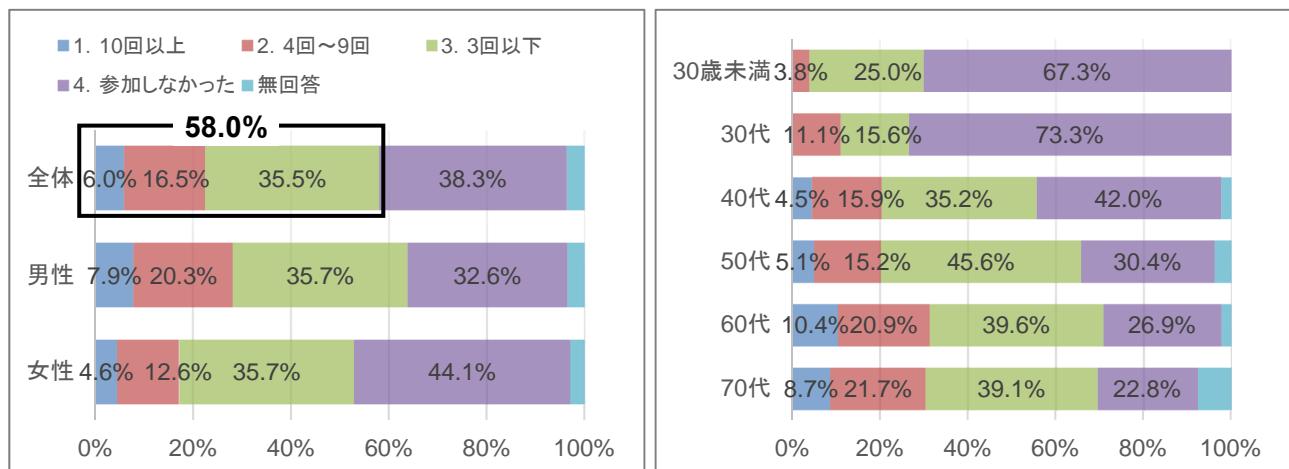


【分析概要】

- ▼コモッセを利用した人は 50.6% で昨年を 5.5 ポイント下回った。利用回数は年 3 回程度が最も多い。
 ▼年代別では、40 代が最も多く、昨年最も多かった 70 代が 15.6 ポイントの大きな減少となった。

8 地域コミュニティについて

設問9 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・地域行事含む）など）にどれくらい参加しましたか。

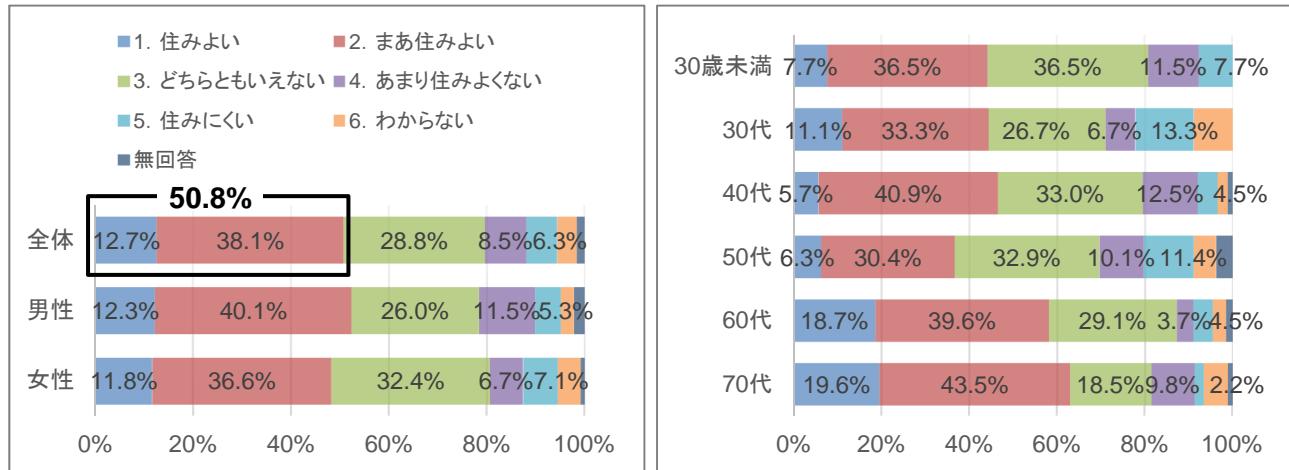


【分析概要】

- ▼1年間に社会活動や地域活動に参加した割合は 58.0% となり、前年を 2 ポイント下回った。
 ▼年代別では、30 代と 40 代で前年より大きく減少したことが、全体の参加割合の減少に影響した。
 ▼地区別では、花輪地区と尾去沢地区は前年より増加したが、毎年特に参加割合の高い八幡平地区は、前年より減少幅が大きくなかった。
 ▼参加できない理由は、全世代を通して新型コロナウィルス感染症の影響によるものが多かった。

9 住みごこちについて

設問10 あなたにとって、鹿角市の住みごこちはどうですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。



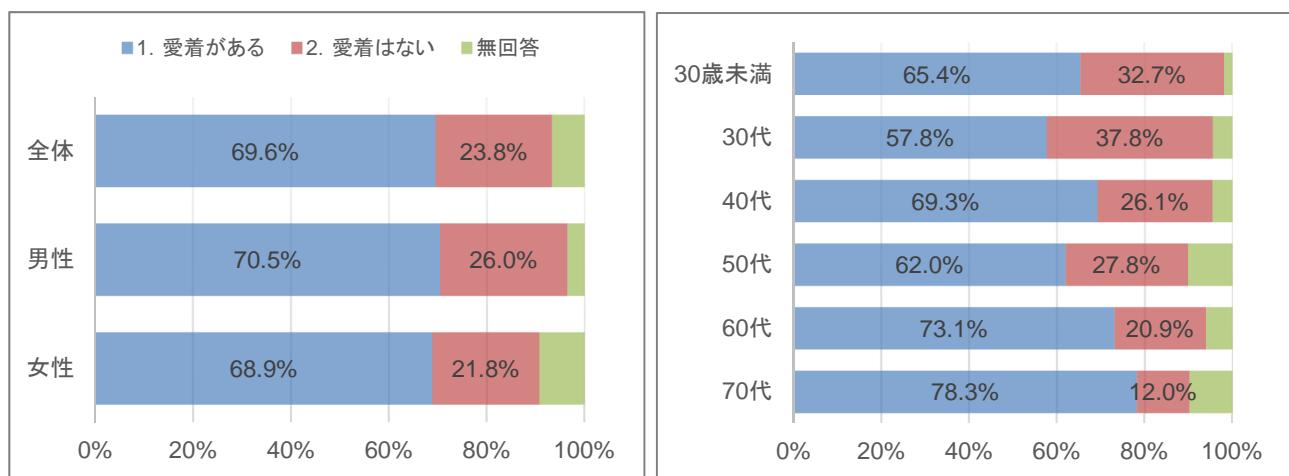
【分析概要】

▼「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方の割合は 50.8% となった。前年を 3 ポイント下回ったものの、半数以上は住みよさを感じている。

▼年代別では、30 歳未満から 40 代までが約 4 割、60 代と 70 代の約 6 割が住みよさを感じているが、50 代が他の年代より低い結果となった。

10 鹿角市への愛着について

設問11 あなたは、鹿角市に愛着をもっていますか。



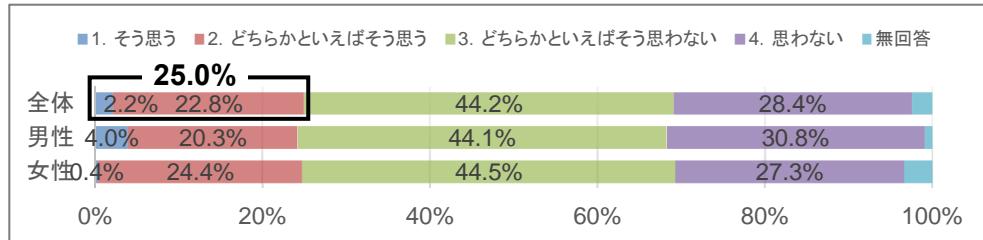
【分析概要】

▼「愛着がある」と回答した方の割合は 69.6% となった。前年を 1.2 ポイント上回り、全体の 7 割弱が鹿角市に対する愛着を持っていることがうかがえる。

▼年代別では、若い世代の割合が昨年より上昇しており、30 歳未満が 5.4 ポイント、30 代が 0.2 ポイント、40 代が 9.7 ポイントそれぞれ増加した。

11 まちの満足度について

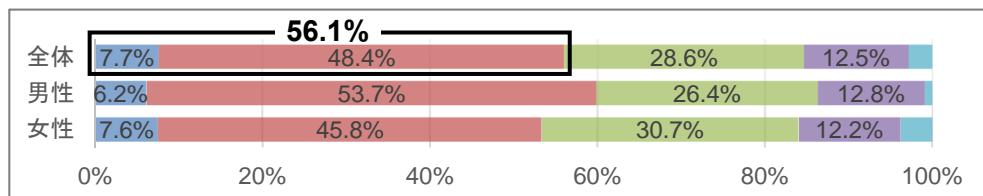
設問 12① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (19.5%)
より 5.5 ポイント増加。
男性は 8.8 ポイント、女性は 0.9 ポイント増加。

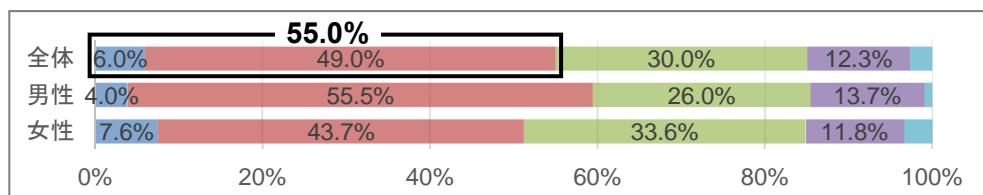
設問 12② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (58.7%)
より 2.6 ポイント減少。
女性が 7.4 ポイント減。

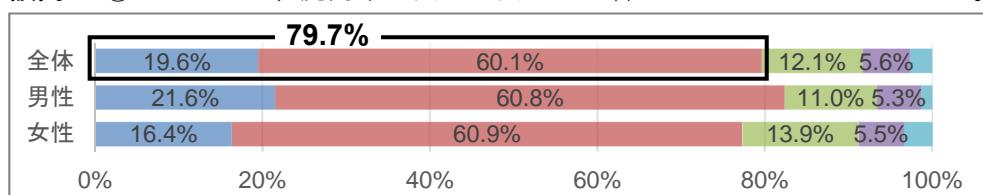
設問 12③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (49.7%)
より 5.3 ポイント増加。
男性が 13.5 ポイント増。

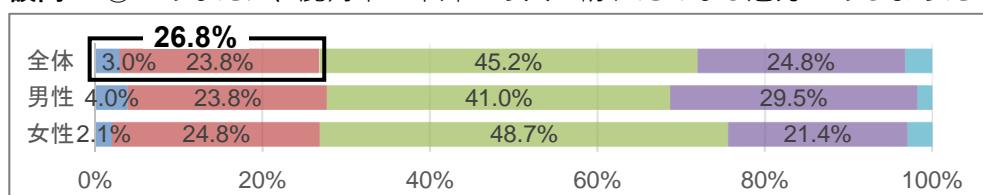
設問 12④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (77.6%)
より 2.1 ポイント増加。
男性が 4.5 ポイント増。

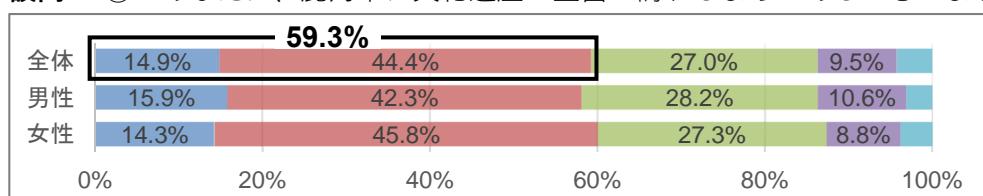
設問 12⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (23.4%)
より 3.4 ポイント増加。
男性が 3.9 ポイント増。

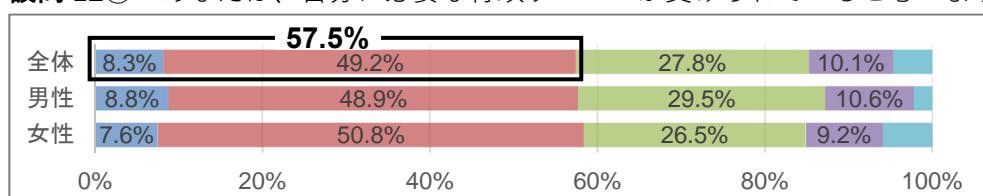
設問 12⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。



【分析概要】

►R1 基準値 (51.3%)
より 8 ポイント増加。
女性が 12.2 ポイント増。

設問 12⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。

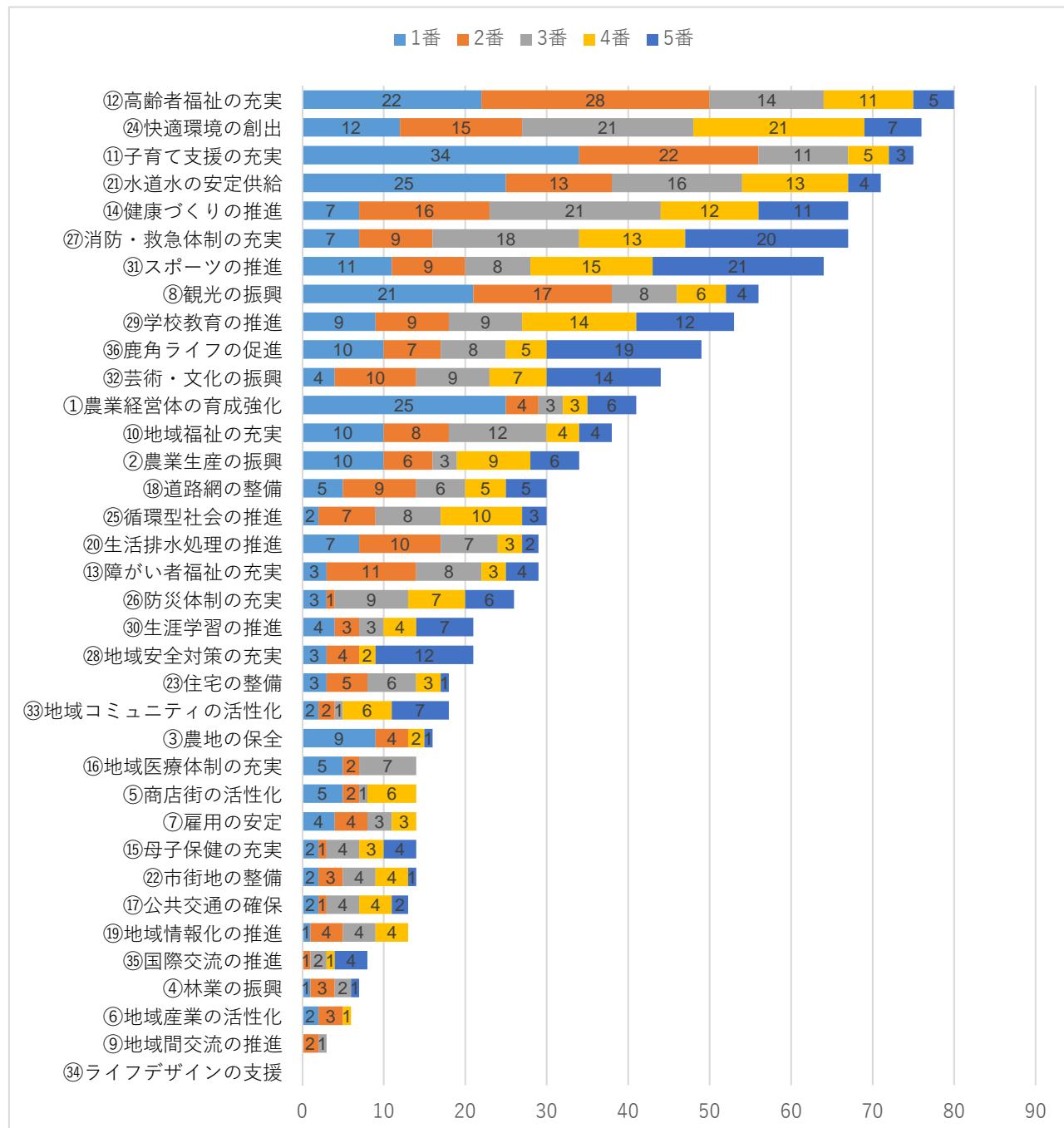


【分析概要】

►R1 基準値 (59.8%)
より 2.3 ポイント減少。
女性が 0.6 ポイント増。

12 市の政策について

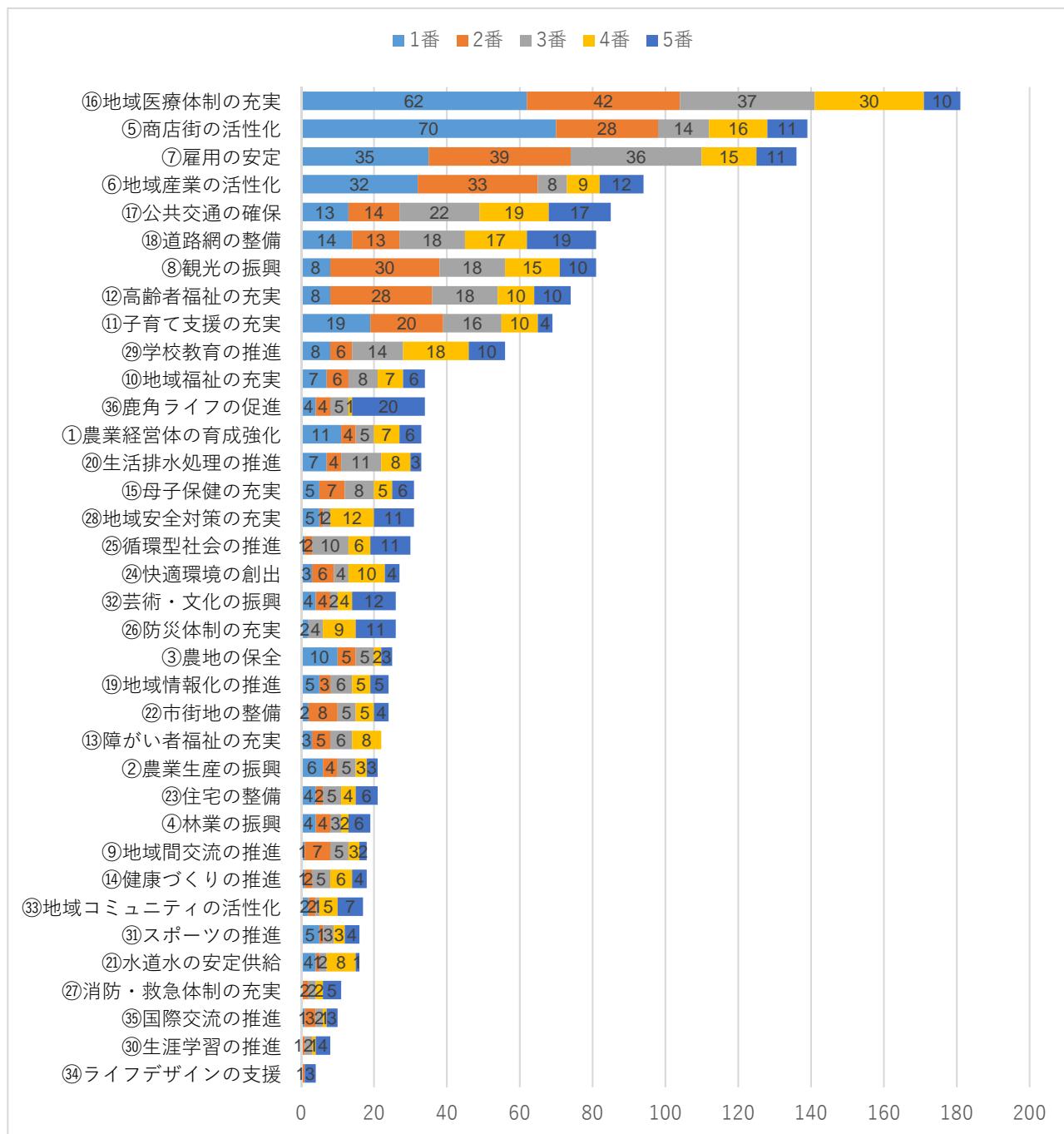
設問 13① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを右表の 36 項目 (①～⑯) から順に 5 つ選んでください。(理由がありましたら記入をお願いします。)



【過去 5 年間の推移】

| 順位 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 位 | 子育て支援の充実 | 子育て支援の充実 | 観光の振興 | 子育て支援の充実 | 高齢者福祉の充実 |
| 2 位 | 高齢者福祉の充実 | 健康づくりの推進 | 子育て支援の充実 | 高齢者福祉の充実 | 快適環境の創出 |
| 3 位 | 健康づくりの推進 | 高齢者福祉の充実 | 健康づくりの推進 | 健康づくりの推進 | 子育て支援の充実 |
| 4 位 | 観光の振興 | 鹿角ライフの促進 | 高齢者福祉の充実 | 観光の振興 | 水道水の安定供給 |
| 5 位 | スポーツの推進 | 観光の振興 | 鹿角ライフの促進 | 農業生産の振興 | 健康づくりの推進 |

設問 13② 市が進めている取組の中で、もっと力を入れて欲しいと感じるものを右表の 36 項目 (①～⑯) から順に 5 つ選んでください。(理由がありましたら記入をお願いします。)



【過去 5 年間の推移】

| 順位 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 |
|-----|-----------|-----------|---------------------|-----------|-----------|
| 1 位 | 雇用の安定 | 地域医療体制の充実 | 地域医療体制の充実 | 地域医療体制の充実 | 地域医療体制の充実 |
| 2 位 | 地域医療体制の充実 | 雇用の安定 | 商店街の活性化 | 商店街の活性化 | 商店街の活性化 |
| 3 位 | 商店街の活性化 | 商店街の活性化 | 雇用の安定 | 学校教育の充実 | 雇用の安定 |
| 4 位 | 学校教育の充実 | 学校教育の充実 | 学校教育の充実 | 雇用の安定 | 地域産業の活性化 |
| 5 位 | 子育て支援の充実 | 観光の振興 | 地域産業の活性化 公共交通の確保 | 市街地の整備 | 公共交通の確保 |